

海外安全対策情報（2018年4月から6月分）

1 治安情勢及び一般犯罪の傾向

当地における犯罪の半数近くを占めるのは、車上荒らし、窃盗といった財産に対するものです。独立家屋、特に人通りが少なく、空き地に隣接している家屋は比較的標的となりやすいと言えます。また、近隣に比べて、警備面の対策が手薄と思われる家屋が狙われている事が多いようです。昨年9月には、ブルネイ・ムアラ地区 Kampong Kiulap の Jln Kiarong 沿いの邦人宅（単身世帯）において、家屋侵入事件が発生しています（発生時は不在のため身体への被害はありませんでしたが、パソコン等貴重品の盗難被害を被っています）。

銀行、ATMの周辺、ホテル、ショッピング・モール、レストラン等では、スリ、ひったくり、置き引きなどにも注意する必要があります。また、件数自体は少ないものの、女性を狙った強姦殺人・傷害事件が近年発生していることから、昼夜を問わず、人目のつきにくいような場所（トレッキング・コース、森林公園、映画館のトイレ等）での単独行動（特に女性）は避けるようにしてください。

2 殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

殺人・強盗とも邦人の被害はありませんが、被害を未然に防ぐためにも、夜間の単独行動を避けるなど、行動には十分注意を払う必要があります。

3 テロ・爆弾事件発生状況

- (1) 5月9日付の当地英字紙は、ブルネイでイスラム過激派 IS へ思想傾倒し資金提供も行ったブルネイ人男性の身柄が拘束されたと報じました。
- (2) ブルネイにおいてはここ最近、テロは発生していませんが、陸路で接しているマレーシアのサバ州及びサラワク州の状況も確認しつつ、引き続き警戒を怠らぬよう、注意が必要です。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

誘拐・脅迫とも邦人の被害はありません。被害を未然に防ぐために、子女だけで外出させることはせず必ず保護者が付き添い、在宅時であっても、常に不審者への警戒を怠らないようにして下さい。

5 対日感情

特に反日的感情は存在せず、良好。

6 日本企業の安全に関する諸問題

特になし。

7 日本人安全対策のためにとった具体的措置

- (1) 4月30日、日本人会理事との間で安全対策連絡協議会を開催しました。
- (2) 5月14日、領事メールで「ラマダン月中の注意事項についての注意喚起」を発出しました。

(了)